

CASE 03

親子・家族間交流

フリースクール・親子体験学習

- 日時:2014.9.6 13:45~16:00(135分)
- 場所:逗子盧花記念公園
- 対象:親子7組(大人:10名、子供:13名)
- 講師:みらい育ティーチャー2名
- 絵本「じっとみて。」の制作

23名

フリースクール

2歳~



目標：親子のより良い関係性の確認や構築をめざします。

親子で絵本制作を行うことで、愛情を確認したり、お互いを一人の人として見つめる機会をつくります。
「親」：子どもの可能性を発見したり、頼もしさに感動したり、みらい力を感じることで子供への信頼度を高める。
「子」：自分について思考し、自由に表現したことを親に見てもらうことで、より深い理解と愛情を確認する。

ワークショップ風景



ウォーミングアップ:補色残像体験
ワークブックの表紙に描かれた青色のモチーフを20秒間じっとみて、裏表紙の白い面に目をうつし、残像効果を体験。
この日は、とても良いお天気だったので、施設にある縁側に出て行いました。



絵本制作:第1シーン「たね、はっけん！」
小1女子とママ、パパによるテーブルの風景。それぞれが自由に思い思いの絵を描きました。



ママは、目を閉じて自分自身をじっとみつめています。



発表
完成した絵本をみんなの前で発表します。4歳と8歳の兄弟が仲良く手を挙げ、草むらのステージにたちました。しかし、急に恥ずかしくなってこのあと、退却しましたが、その勇気に拍手喝采！



親子で一緒に場面紹介



絵本を交換して感想を書き合うことで日常とは違う親子の対話が実現。(小2)



大好きなママと絵本を重ね合わせて密着しながら制作しています。(4歳)



2歳の女の子もママやパパの膝の上と一緒に描きました。



親子共通の画材を使って仲良く描いています。(小3)

作品紹介



娘の描いたとげのあるタネの絵に「そのトゲでお母さんにくっついてくるのかな？」という返事があたったかい。

ママの描いた芽に「せかいいちきれいだね。」と感想を書いた娘の言葉が嬉しい。



4歳でまだ文字が書けなため、ママに話して、書いてもらったママとの共同作品。成長するための栄養のシーンで一生懸命考えたカタチが、花火と家族一人一人の存在であることにママは感動！

中2男子の未来のタネのシーンで、「まだわかりません……」という素直な気持ちに対して、「未知の種、無限の可能性があって何にでもなれる！」と励ますメッセージが勇気を与える。



感想

- ・自分のことを現すこと、視覚化することで、自分を確認できた。改めて気がついたこと、新たな発見もあり、楽しかった。子どもを一人の人として見られて、発見がたくさんあり、一人の人としての我が子を好きになりました。(小1・小5・中2のママ)
- ・親子で参加しました。子供の感性和自分の感性の違いがおもしろく思いました。また、他の方の絵本もまたまったく違ったもので驚かされました。
- ・自分の好きなようにかけたからすごくおもしろかった。またやりたい。(9歳女子)
- ・たくさんほめられたりして力になった。すごく楽しかったからまたやりたい。いろんな人を見て楽しかった。2回目だったけれど、1回目より自分をみつめられたし、とても楽しかった。(11歳男子)
- ・今回娘2人と参加させてもらい、それぞれの個性の違いを目の当たりにして面白かったです。それぞれの絵を通して、子供たちの思っていることが少しわかったような気がします。私も絵を描いている時、無心になって楽しかったです。(40代女性)
- ・一つの事に取り組むことで、自分の思いがけない発想や、大人から子供まで様々な表現を見ることが出来、とても楽しく、勉強になりました。同じ問いかけでも、本当に十人十色の表現になるんですね。楽しかったです。(40代男性)
- ・他人の作品を見ることで、自分にはない感性を発見して新鮮でした。(40代女性)

アンケート集計

